

施策
(- 1 - 4)

港湾の整備

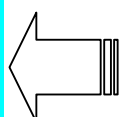
目的

物流や離島航路に必要な港湾について、取扱可能貨物量の増大や接岸船舶の大型化等のための岸壁や防波堤などの整備を行います。

成果指標と目標値

目標値(平成19年度)

離島航路整備率 68.5 %
港湾による緊急物資供給が可能な地域の人口 221,437人



現状値(平成15年度)

53.8 %
62,265人

隠岐航路に係る港の輸送の効率化を図る事業の事業費ベースの実施率です。目標値は、平成21年度の完成をめざし、その進捗率から設定しました。

岸壁の耐震強化などの地震対策により震災時に港湾による緊急物資供給が可能となる人口で、港湾から10km圏内にある市町村人口の合計です。目標値は、浜田港と河下港の耐震岸壁整備事業が完成した際の人口を推計しています。

現状と課題

人の交流、また県内企業の国内・海外展開の物流基盤となる港湾については、船舶の安全航行や船舶の大型化に対応した岸壁などの整備が必要です。

また、大規模災害発生時の避難、救助活動、物資輸送の拠点としての役割も求められており、耐震構造の岸壁や緑地の整備が必要となっています。

平成13年に開設された浜田港と韓国釜山を結ぶ定期コンテナ航路は、順調な伸びを見せていますが、島根県の実港取扱量は、国内需要の低迷から平成15年には約800万トンに落ちています。(図表1参照)

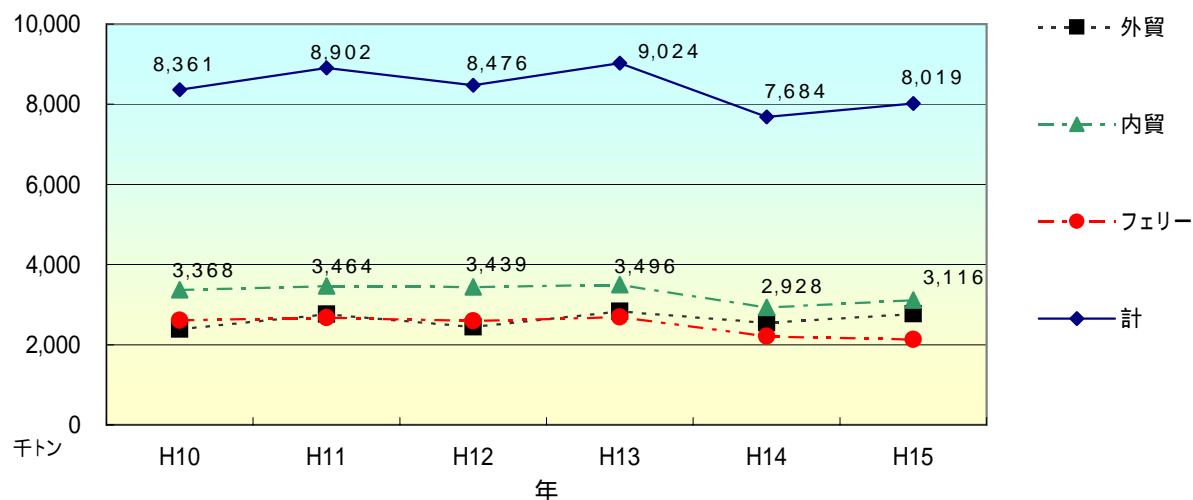
隠岐島と本土との旅客及び貨物輸送の円滑化、就航率の向上、フェリーの大型化などに対応するため、港湾施設の整備が求められています。(図表2・3参照)

目的を達成するための主な基本事務事業

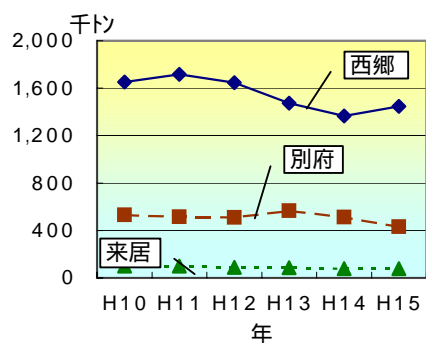
主な事務事業

事業名	概要
物流拠点推進 〔担当課〕港湾空港課 【実施主体】 県 市町村 民間 県民 国等 - - - - -	浜田港、河下港などの物流の拠点になる港について、入港船舶の大型化や地震に対応するための岸壁の整備、港内静穏度の改善のための防波堤延伸、防災のための緑地の整備、利便性向上のための臨港道路の整備などを行います。 浜田港の整備 河下港の整備
離島航路整備 〔担当課〕港湾空港課 【実施主体】 県 市町村 民間 県民 国等 - - - - -	西郷港、七類港などの隠岐航路に係る港について、荒天時の欠航や混雑期の待機車両の解消、旅客輸送や物流の効率化に対応するために岸壁の大型化などに取り組みます。 西郷港の整備 別府港の整備 来居港の整備 七類港の整備

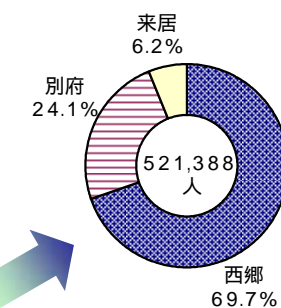
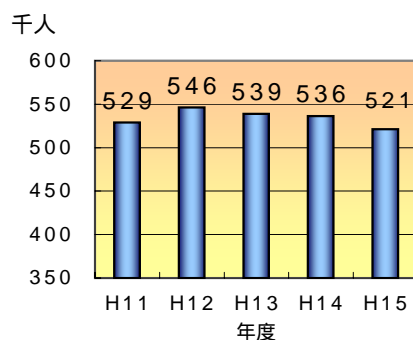
図表1 県内全港湾貨物取扱量の年度推移



図表2 隠岐島港湾別貨物取扱量



図表3 隠岐島港湾別乗降客数



(H15内訳)

注) 超高速船レインボーの来居港就航は平成12年4月からです

資料：県港湾空港課調べ